

★身体障害者福祉協会壮警支部★

身体障がい者の自立更生を促進するとともに、様々な事業をとおして町内はもとより、胆振管内他町の会員と親睦交流も図っております。

会の事業は、自分達の体力に合わせ、無理をしない範囲で楽しく取り組んでいます。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、事業内容が変わる可能性があります。

- 正会員 身体障がい者手帳保持者
- 賛助会員 手帳の有無に関わらず、本会の趣旨・目的に賛同頂ける方
- 年会費 2,000円
- 主な事業
支部事業：支部総会、新年交流会、研修旅行
管内事業：胆振管内6町スポーツ大会、胆振西部3町交流会（豊浦、洞爺湖、壮警）



(写真は研修旅行の様子)

会員は、常時募集しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。
(社協内 担当：高橋・米田)

★壮警町共同募金委員会★

毎年10月から始まる「赤い羽根募金運動」と12月から始まる「歳末たすけあい募金運動」を実施しています。

赤い羽根募金運動は、「街頭募金」をはじめ、自治会をとおしてお願いする「戸別募金」、商店や事業所をお願いする「大口募金」、商店に募金箱を置かせて頂く「職域募金」や「学校募金」など、様々なかたちで募金のお願いをしています。

では、その募金の使われ方についてご説明します。本町では、社会福祉協議会が下の表にある様々な事業費として活用しています。また、歳末たすけあい募金も、全額を町内の生活困窮世帯に助成しています（詳しくは本誌の31頁を参照）。

壮警町がもっと住みやすくなるよう、有効に活用させていただきます。

【令和5年度の赤い羽根助成事業】

(単位：千円)

募金を活用している事業	総事業費	助成額
ふれあい敬老昼食会	960	60
ふれあい交流会	190	60
児童生徒ボランティア活動推進費	150	120
広報紙発行事業	240	140
ボランティア活動推進費	160	130
身体障害者壮警支部町外研修会	300	60
相談室フロイデ「しゃべり場」	60	20
スポーツサロン	150	10
合 計	2,150	600



【壮瞥町老人クラブ連合会】

～趣味も仕事も忙しく生涯現役～

- 老人クラブは、概ね65歳以上の方が加入できます。
- 老人クラブは、月例会やパークゴルフ大会、花見、旅行など、自分たちが楽しく活動する為に様々な行事を企画、実施することで、閉じこもり防止や健康増進、生きがいづくり活動をしています。
- 老人クラブは、少しでも長く健康で過ごせるよう、定期的に集まり、共通の趣味活動を楽しむ、心も体も健康でいられるように、「仲間づくり」「生きがいづくり」「閉じこもり予防」をモットーに活動しています。
- 4つの単位クラブは「壮瞥町老人クラブ連合会」を組織し、単位会の会員が共通の行事に参加することで交流できるよう、スポーツ大会や文化活動を推進しています。



【老人クラブ連合会の活動】

※感染症拡大防止のため、中止や開催時期がずれる可能性があります。

4月：会計監査、春の交通安全街頭指導に協力

6月：連合会理事会、連合会総会

7月：春のパークゴルフ大会（生き生き広場パークゴルフ場）

8月：子ども見守り隊（小学生の登下校の見守り活動）

9月：秋のパークゴルフ大会（生き生き広場パークゴルフ場）

社会奉仕の日活動（バス停清掃や花壇整備で社会貢献）

2月：演芸交流会（山美湖ステージで自慢の歌と踊りを披露）

3月：室内パークゴルフ大会（壮瞥小学校体育館）

麻雀大会（指先と頭脳の連携は認知症予防に効果大）

通年：書道サークル（書道に励む会、保健センターで毎月第2・第4木曜）

※上記に、単位クラブの事業は含まれていません。

老人クラブでは、会員を常時募集しています

単位老人クラブは、町内に4つあります。興味を持たれた方は、老人クラブ連合会事務局（社協内担当：富田 電話：66-2511）

●寿会（壮瞥温泉～滝之町～立香地区）
会長 山本 節夫さん

●鶴亀会（久保内～南久保内地区）
会長 間宮 信弘さん

●溪流会（蟠溪～幸内～弁景地区）
会長 宮崎 清子さん

●長寿会（東湖畔～仲洞爺地区）
会長 渡辺 勉さん